

山口大学医学部 医学科後援会

会報 H24.11 Vol.6



◆ 会長挨拶

山口大学医学部医学科後援会 会長
加藤 紘

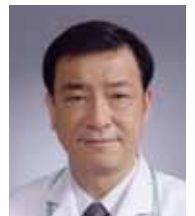


後援会につきましては日頃から暖かいご支援を頂き誠にありがとうございます。医学科の学生さんたちには、何れもあれ充実した学生生活を送っていただい、また国家試験にも合格してもらわなければなりません、その先に待っている事も大きいと思います。医師としては治らない病気も治そうとするチャレンジの気持ちも欲しいと思います。資格だけでなく人間性ややる気も育て欲しい。山口から素晴らしい人材と新しい医学、医療が生まれる事を願っておりますし、後援会として少しでもそのお手伝いができれば嬉しい限りです。

平成24年度理事会で話し合った内容をまとめて会報にいたしました。大学や医学部附属病院の様子が伝わり、現況をご理解いただく一助になれば幸いです。

◆ 顧問あいさつ

山口大学医学部長・山口大学医学部医学科長
坂井田 功



4月から医学部長に就任いたしました坂井田でございます。平素は多大なご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

いただきました会費は皆様のご意見を参考としながら有効に使わせていただいておりますが、特に昨年はクラブ活動送迎のためのバス運行を実現でき、大変有意義でした。今後も続けさせていただけたらと思っております。

医学科としましては、最後の出口をしっかりさせたいと考えております。国家試験の合格率が全国的にみてよいわけではありませんので、できれば今年からなんとか目に見える形にし、よい医師を社会に送り出せるよう取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成24年度 山口大学医学部医学科後援会 理事会 理事会での主な内容について

平成24年度 山口大学医学部医学科後援会より、
教員からみた学生生活等について

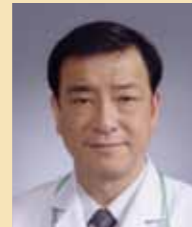
理事会の中で行われた懇談を一部抜粋して編集しています。



山口大学医学部附属病
院長
岡 正朗教授



山口大学名誉教授
加藤 紘会長



山口大学医学部長・
山口大学医学部医学科長
坂井田 功教授



山口大学医学部医学科
学生部委員(副委員長)
池田 栄二教授



山口大学医学部医学科
教務部委員(委員長)
藤宮 龍也教授



山口大学医学部医学科
後援会監事
中村 和行教授

山口大学医学部附属病院 について

●岡病院長

附属病院の現況は、一番大きな目標が新病棟の建設です。教育・研究・臨床を含めた病棟とし、手術室を増やす予定です。経営に関しては順調です。今年、老朽化した診療機器を更新し、ロボット手術(ダヴィンチ)やハイブリッド型の手術を導入する予定です。また、遺伝子診断の装置の導入や集中治療部の機器も更新する予定ですし、今年度には高性能の放射線治療機器を導入します。よい治療を提供するよう努力しております。

学生が臨床実習等で満足できるように、また研修医のための施設である地域医療教育研修センター「白翔館」を充実させて、山口大学に残っていただけるようにと考えております。

●加藤議長

性格はよくて医師に適任と思われても、国家試験に通らなければ医師にはなれません。そういう学生に医師になっていたきたいので、是非、学生さん



たちにかんがってほしいと思います。

山口大学は昔から専門技術だけでなく、人間性をも高めるカリキュラムを組んでいて、それは自慢できることです。全国から入学している学生さんたちに残っていただくには魅力ある病院でないといけません。山口大学病院ではどのように取り組んでおられますか。

●岡病院長

大学病院であるので教員は教育能力が優れていますが、研修医に関しては、待遇改善だけでなく、カリキュラムが重要であると考えます。ファーストタッチ(初期診療等)を求める研修医が多いので病院のブランチを作って、外病院に教員を派遣して教育をするようにして、初期診療から高度医療までの経験が大学のプログラムで可能と



なります。また、他機関からの研修医が山口大学で研修をしたいという時に、白翔館を利用してもらったり、「キャリアナビゲーション山大」を開催して先輩医師との交流の場を作っています。

また先進医療の開発をすることが大学病院の使命であるので、それを進めています。診療と研究と人材育成をよいバランスで行って、「みなさんが誇れる大学」ということを念頭においています。将来的にはグローバルにいろんな診療が展開できればよいと考えます。

また保護者の方へ医学部・附属病院の見学会及び研修制度の説明会を実施する計画があります。



●加藤議長

保護者の方でご希望があれば、見学会を開催するように考えていただきたいのですが、いかがですか。

●保護者理事

個人的には診察していただいたりして病院には来ていますが、研修の内容についてとか、研修先の情報などが知りたくても親がどこまで関わるべきかがわかりません。もし、そのような説明を受ける機会があるのならば、受けてみたいです。

●岡病院長

学生が保護者に研修制度などの説明をして、大学のアピールをした方がたくさん大学に残ってくれるという意

見があるので、見学会の開催を計画したいと思います。

●加藤議長

外から見ただくと、大学や病院のモチベーションが上がるので、サポートの意味からも開催するのは良いことだと思います。

2・3年次編入について

●加藤議長

それでは学部の方から池田先生、藤宮先生が来ておられますので、学生の教育あるいは生活環境について報告していただきます。

●池田理事(学生部委員)

今年度から、3年次の医療実習が必修になり、それに合わせてワクチン接種、結核検査を実施することになりました。本年度は移行期で3学年分のワクチン接種経費が必要になります。多額となりますが、後援会からのご支援をお願い申し上げます。

平成25年度から学士入学者は、2年次編入となるので、後援会費は在学期間5年間で75,000円となることをご了解いただきたいと思います。文部科学省から卒業生の人数を減らさないようにという指導で、平成25年度は2年次編入者10名、3年次編入者10名の計20名となります。

●加藤議長

今の会費のことは、会則の変更が必要となりますので、後ほど語りしたいと思います。

◆会則第12条(1)会費についての下記の変更が議長から諮られ、承認された。

第12条 本会の経費は、次の収入によって支弁する。

- (1) 会費 90,000円(1年次入学者納入6年間分)
- 75,000円(2年次編入者納入5年間分)
- 60,000円(3年次編入者納入4年間分)

附則

この会則は、平成24年7月12日から施行し、平成25年度入会者から適用する。

クラブ活動助成費について

●藤宮理事

クラブ活動のバスの運行支援により、事故の心配が減りました。ご支援に御礼申し上げます。クラブ活動に参加している学生も費用の一部を負担するため、参加していない学生との不公平は少ないと考えます。また教務部委員としては国家試験対策として、将来は模擬試験等の補助をお願いしたいと思います。大学の費用から出にくいもの(クラブ活動、ワクチン接種等)があるので、是非ご理解いただきたいと思います。

●加藤議長

クラブ活動のバス運行については、9月からでよいのですか？

●藤宮理事

学生が自主的に考えて決めています。

【平成23年度医学科後援会事業報告】

(3)クラブ活動に参加する1年生の送迎

山口-宇部間のバス借上げの費用の一部を補助

実施期間 平成23年10月3日から11月25日

吉田発 月～水曜日 16時30分

木・金曜日 17時

医学部発 月～金曜日 22時30分

1日1往復、10月に延べ864人、11月延べ739人、

計 延べ1,603名の利用があった。

実施経費 1,635,500円

(バス借上げ及び有料道路代)

(主な意見等)

- ・送迎バスは本当によかった。
- ・先輩の送迎に関する負担が大幅に軽減され、大変助かった。
- ・送迎バスの有効性をとても強く感じた。
- ・土曜日も運行してほしい。
- ・2年生以上の負担が軽減されるだけでなく、1年生、上級生への事故の危険性も下がり、授業にも、勉強にも集中できる。
- ・本稼働を部員一同、心から願います。

・来年度も運行をお願いします。

・スポーツと勉強を両立したいので、バスの運行をお願いします

【平成24年度医学科後援会事業計画(案)】

1.クラブ活動に関する事業

(3)クラブ活動に参加する1年生送迎(山口-宇部間)のためのバス借上げ費用の一部を補助(継続)

実施期間/平成24年9月～平成25年2月

(1日1往復 109回)

経 費/バス代 4,349,100円(39,900円×109回)

内 訳/サークル負担 2,349,100円

不 足 額/2,000,000円を補助する

国家試験対策について

●加藤議長

国家試験対策は何かありますか？

●藤宮理事

現在、山口大学は国家試験合格率が全国平均程度です。国家試験の結果が悪いと教育が悪いのではないかとと思われるので、頭を悩ませています。基本的にはできる学生さんなので、やる気の問題です。成績不良者に対して、やる気を起こすように指導したいと考え、6年次から特別指導コースを設けています。また、模擬試験を予備校がやっています。またビデオ講義を自主的に受ける学生もいますが、費用がかかります。合格しない人はそのビデオすら見ないのです。

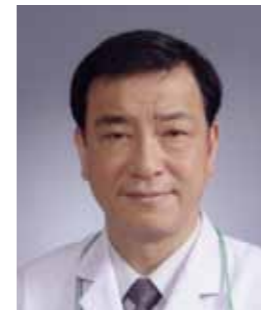


●加藤議長

国家試験に1回で合格しなくても、よい医師になった人はたくさんいます。学生生活の成績と開業して好かれる医師になるかはまったく関係ありません。やる気のない学生にやる気を起こさせるのに何かよい方法がありますか？

●坂井田顧問

孤立している学生が国家試験に落ちやすいようです。連絡しようとしても連絡がつかなかったりしていますので、是非、保護者の方にも気をつけていただきたいと思います。



●加藤議長

本当は優秀なんだけど、やる気がなくて国家試験に落ちるのは、カリキュラムの問題ではないかと思われませんが、何かサポートする方法はないのでしょうか。やるが多すぎて、手に負えないのではないのでしょうか。

●藤宮理事

ほとんどの人が合格します。しかし、毎年合格率が50%くらいの方が5人程度います。また75%くらいの確率の方が7人程度います。さらにパニックに陥る人が1人、2人います。

計画的にやりさえすればできるのですが、12月に相談を受けても、頑張るしかないと言わざるを得ないのです。早期から計画的にやってくれれば間に合うのです。

●加藤議長

放っておいてもやる学生まで巻き込むことはなく、10人不合格者の中で1人でも多く、合格させるようにする方法があれば、後援会でも支援したいと思います。

●藤宮理事

FD行って、学生と教員の話し合いを行った滋賀医大が国家試験の合格率が100%でしたので、山口大学でもその方法を取り入れたいと考えます。そしてなるべく山口大学に残ってもらいたいため、“キャリアナビゲーション山大大”を開催して、情報交換の場としています。

●加藤議長

カリキュラムの中で、なんとかならないの?というようなご意見はないでしょうか。

●池田理事

基礎医学が弱いと感じます。国家試験に楽に受かる方法は、基礎医学をしっかり身につけることであると考えます。一番重要なことは、3年生はまだ時間がありますので自分で勉強していただければよいのですが、基礎医学をしっかり本を読んで学習していただければ、楽になると思います。スロースターターは、もう少し、自分の意識の中で早くしてもらって、6年間全部の中でのスロースターターという意識をもって、2年生くらいから頑張ってもらえば、きっと楽になると考えます。国家試験の合格率を上げるのに、一番簡単な方法は卒業試験を難しくすることですが、国立大学ではそこまでしていません。藤宮教務部委員がされているように、小手先のことも、しっかり学問を教えることが大事です。医学部は医師養成学校ではなく、医学を修めてその結果として医師になる、そう考えています。



●加藤議長

国家試験が受かりそうでなければ、卒業試験で落としておくと合格率は上がるという、私学はそうしていますよね。

●藤宮理事

合格する確率が50%の絶対落ちるという学生でも最後には合格します。だから留年させるのは難しいです。

●池田理事

教育というのは1人の落ちこぼれを悲しむというものであって、国家試験の合格率を上げるというものではないのです。だから学生さんたちががんばってほしいと願っています。

【平成24年度医学科後援会事業計画(案)】

3.医学教育に関する事業

(9)医師国家試験対策への補助 500,000円

第105回テコム公開模試(受験者数100名)

山口大学医学部の 今後の取組について

●加藤議長

2年生から専門教育が始まりますが、1年生の間はまだ大丈夫なのですか。

●藤宮理事

教育学的にはアーリーエクスポージャーといって、5年生から急にやる気が出ましたという話が出ていましたけど、山口大学としては1年生から高齢者施設実習などいろんなことをして、モチベーションを上げるようにしています。

●中村監事

いかにしたらコミュニケーションがとれる学生になるかというご意見がありましたが、学生が人とコミュニケーションできるようにするための教育・指導は、否定するのではなく、あ

る程度許容する努力が必要であり、教員だけではできないので、保護者の方からこんなことあっていいのかなというご意見をいただくなど、ご協力をお願いしたいです。



●保護者理事

相手に対する思いやり、先生に対する感謝の気持ち、人に対する思いが今の学生には欠けています。人間関係はよいことばかりではないので、学生を転ばせるトレーニングも必要かなと思います。インターネットの発達で最近では名著を読まなくなっているの、先生方の分野で名著といわれる本があれば紹介していただきたいです。そうすると学生が深い理解に到達すると思います。

※平成24年7月12日に行われた「平成24年度山口大学医学部医学科後援会理事会」の議事内容から抜粋して掲載しました。



第68回医学祭開催にあたって

STAY GOLD!

第68回医学祭実行委員会
委員長

桑原 舜太郎



●医学祭HPはこちら <http://ymgc-med-festa2011.jimdo.com/>

日 増しに秋の色も深まり、朝夕は寒さも身にしみる今日この頃、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃から、私も学生や医学祭に対し多大なご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。多くの皆様のお力添えにより、第68回医学祭を無事開催する運びとなりましたことを、実行委員一同、深く感謝申し上げます。

さ て、今回医学祭を開催するにあたり、『STAY GOLD ～楽しまんと医看検!!～』というテーマを設けました。「STAY GOLD」には“いつまでも純粋な輝きを持っていて”という意味があります。理想の医療者に近づくために、過密なカリキュラムの中で日々学業に励み、知識や経験を習得している私たちにとって、純粋に輝き続けることは簡単なことではありません。しかしそのような毎日でも夢や理想を変わず持ち続け、それに向かってひたむきに努力している時、人は輝いているといえるのではないでしょうか。この医学祭が一人一人にとっての“GOLD”を再発見し追求できる場になることを願ってこのテーマにしました。

今 年はロンドンオリンピック・パラリンピックが開催されました。金メダルこそ少なかったものの、オリンピックでは過去最高のメダル数、パラリンピックでも団体競技初の金メダルを獲得しました。数々のメダルは競技者一人の力ではなく、多くの人の支えによってもたらされたものです。それは医療に関しても同じです。医師、看護師、検査技師など、それぞれの立場で違った視点を持った人たちが連携することで、初めて一つの命を支えていくことができます。

私 たち医学科と保健学科の学生は、共に将来、命に携わる職を目指し、同じキャンパスで学んでいるながら、日頃は関わり合うことの少ないのが現状です。医学祭という場を生かして、それぞれが主体的に参加し、楽しんで“医学部のお祭り”を作っていきたいという思いを「楽しまんと医看検!!」という言葉に込めました。

こ のテーマのもと、今年も学生、関係者だけでなく来場者の方にも楽しんでいただける企画が多くあります。昨年の1月から運航を開始したドクターヘリの展示や、保健学科の学生による企画「コメでいから」、救急医療体験などに加え、今年からの新企画も盛りだくさんです。今、私たちに出来る精一杯のことを、知恵を絞り、試行錯誤を繰り返しながら作ってきました。その力、そして輝きを、医学祭に関わったすべての皆様に残すことができたら嬉しく思います。

最後になりましたが、医学祭にご支援いただきました多くの方々に重ねて感謝申し上げます。

どうか心ゆくまで第68回医学祭をご堪能下さい!



第67回医学祭風景

第68回 医学祭 企画内容

かりゆし58 LIVE

日時:11月10日(土) 15~17時
会場:お祭り広場

今年のゲストは沖縄出身の4人組、かりゆし58です。沖縄音階にロック、レゲエの要素をミックスした楽曲で、医学祭を盛り上げます。当日は10時より整理券配布を行います。

SORGENTI LIVE

日時:11月11日(日) 11時~12時
会場:お祭り広場

山口県出身の兄弟ユニットで2011年にメジャーデビューを果たしたSORGENTIのライブです。SORGENTIにはイタリア語で「湧き出る泉」という意味があり、「たくさんの音楽を生み出し、一人一人の心に届けたい」という2人の想いが込められています。

一般公演

日時:11月10日(土) 12~14時 (11時開場予定)
会場:第3講義室(講義棟C)

一般講演ではスーダンで医療活動を行なっている認定NPO法人ロシナンテスの理事長、川原尚行先生に講演していただきます。たくさんの方のお越しをお待ちしております。

ドクターヘリ展示

日時:11月10日(土)、11日(日) 13~15時
会場:ヘリポート、総合研究棟1F

昨年1月より運航開始したドクターヘリの機体展示と活動内容に関するパネル展示を行います。救急の第一線で活躍するドクターヘリの活動を見て聞いてください。当日10:00より整理券配布を行います。

ドクターカー展示

日時:11月10日(土) 11~13時
会場:総合研究棟前・正門駐車場

医師が同乗して出勤する救急車であるドクターカーの展示と、救急医療で使われる器具の体験・展示を行います。救急隊員の方と一緒に、ドクターカーの活動について学ぶことができます。

コメでいから

日時:11月11日(日)終日
会場:医心館1階

保健学科の学生が主体となり、コメでいからを開催します。私たちコメディカルが普段どのようなことをしているのか、さまざまな企画を通して知って頂けたらと思っています。たくさんの参加をお待ちしています。

救急医療体験

日時:11月10日(土)、11日(日)終日
会場:実習棟A 2階

AEDや胸骨圧迫などの心肺蘇生法の講習を行います。ニーズやご都合に合わせて最短受講時間15分から個別に対応します。初めての方も以前に講習を受けた方もいざという時のためにお気軽にお越しください。

骨髄バンク

日時:11月11日(日) 10時~12時・13時~15時
会場:医心館前テント(受付)
医心館2階視聴覚室(登録会場)

骨髄バンクパートは、医学祭2日目に医心館2階でドナー登録会を行います。医学祭を通して、1人でも多くの方が骨髄バンクを理解し、ドナー登録して下さることを願っています。興味のある方は是非お越し下さい!

抗体検査、エイズカフェ

日時:11月10日(土)、11日(日) 終日
会場:医心館2階、第2講義室(講義棟A)

エイズと自分を知ろうということをテーマにエイズについての知識を広め、検査を受けることを推奨していく予定です。抗体検査では実際に無料で検査を受けることができ、エイズカフェではドーナツとジュースを用意して待っていますので気軽にお立ち寄りください!

ジャズカフェ

日時:11月10日(土) 12時30分~
会場:医心館1階

今年も私たち軽音楽部は、ジャズ演奏で医学祭に色を添えます。コーヒーを飲みながら、素敵な時間を過ごしてみませんか?皆さんが来られるのを心からお待ちしています。

学生バンド

日時:11月10日(土) 9時30分~12時
会場:お祭り広場

学生有志のグループによるバンドのライブです。練習の成果をご覧ください。



日時:11月10日(土)、11日(日)終日
※()内はそれぞれの会場を記す

医学展示(医心館2F ロビー)

今年の医学展示は「認知症」というテーマで展示を行います。この展示を通じて、認知症のことを多くの人に知ってもらいたいと思います。誰でも自由に観覧することができますので、お気軽にお越し下さい。

美術展示(医心館2F 談話室)

今年も美術部は、部員の作品を展示します。油絵や写真、書道など、幅広いジャンルの作品をごゆっくりお楽しみください。おいしいコーヒーもありますので、休憩にもご利用ください。